



Title	新年のごあいさつ
Author(s)	高杉, 豊; 澤田, 重樹; 一入, 靖典 他
Citation	makoto. 2002, 117, p. 2-5
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/85823
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

新年のごあいさつ



大阪府健康福祉部長

高 杉 豊

新年あけましておめでとうございます。

新春を迎え、財団法人大阪防疫協会の皆様には益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃から、本府の健康福祉行政に格別の御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、振り返ってみますと昨年の感染症をめぐる状況は本当に慌ただしい一年でした。C型肝炎検査の実施やハンセン病訴訟判決、また、例年がない早い時期からのO157感染症の多発と広域的な集団発生、国内での狂牛病の発生などが相次ぎ、改めて感染症対策の重要性を認識させられたところ です。

さらには、9月11日の同時多発テロ事件に引き続いて起こった米国内での炭疽菌による感染被害は日本国内にも多くの不安をもたらしました。以前から可能性がある指摘され論じられてきた炭疽菌・天然痘ウイルス・ペスト菌・ボツリヌス毒素などによる生物テロが現実の脅威となり、日頃の感染症発生動向調査の強化や、診断・治療体制、医薬品供給体制などの危機管理体制の構築が必要になりました。貴協会におかれましては、兼ねてよりワクチン、抗毒素の安定供給など感染症対策の重要な一翼を担われ御尽力いただいているところですが、益々その役割は重要になっているものと思われ ます。

今後とも、貴協会が培われてきた豊富な知識、経験、高度な技術を遺憾なく発揮され、府民の健康づくりにより一層のお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、財団法人大阪防疫協会の益々の御発展と皆様方の御活躍、御健勝を祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

年頭の御挨拶



財団法人 大阪防疫協会

理事長 澤 田 重 樹

明けましておめでとうございます。

昨年は何かとご指導ご鞭撻賜りまして、有りがとうございました。

本年もよろしくお願い申し上げます。

当協会は今年で55年目を迎えることになります。この半世紀の長きに亘り、協会発展のために貢献されました諸先輩のご苦勞に対し敬意を表しますと共に、関係各位の協会運営に対する御指導と御支援の賜と、深く感謝いたしております。

当協会の設立当時は、戦後の混乱期に当たり、環境衛生の状態は非常に悪く、発疹チフス等の感染症の蔓延や、それらを媒介するシラミ、ノミ、カ、ハエ、ネズミ等の対策が求められた時代だったと聞いております。こうした時代に当協会は、各種ワクチンの斡旋販売と防疫作業を行うと共に、大阪府民に対する衛生思想の啓発等の事業を通じて、衛生行政に協力いたしてまいりました。

近年、上水道及び下水道の整備や、生活様式の変化による生活水準の向上や医療の進歩によって、これらの媒介による感染症は減少してまいりました。

最近では、地球の温暖化や交通手段の発達によって、海外より入ってきたセアカゴケグモや、宅地造成による都市化の広がりが、今まで住宅地域では問題とならなかったスズメバチ等のハチの被害や、室内環境においては、高気密・高断熱化された住宅での、アレルギーや有害化学物質が新しい問題としてクローズアップされております。環境問題が注目される現在、防除作業においてもレスケミカルの方 向へ新しい施工システムが検討されるなど、住民の多様なニーズに対応していく必要が求められております。当協会も種々の活動を通じて、時代にマッチした新しい情報を提供して、環境衛生の向上に貢献して参りたいと考えております。

世間では、米国同時多発テロの影響と、不況に喘いでいます。今年こそは良い年になりますようにと願ってやみません。

新年のごあいさつ



大阪市健康福祉局
保健医療本部長

一 入 靖 典

新年あけましておめでとうございます。

新春を迎え、財団法人大阪防疫協会の皆様方には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

旧年中は、本市の健康福祉行政の推進に格段の御協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

さて、大阪市では市民が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、市民の健康福祉の一層の向上を図るとともに、内外から多くの人・もの・情報が集まり、新しい産業や文化を創造するまちづくりを進め、ひとが輝く「生活魅力都市」、まちが華やぐ「国際集客都市」の実現をめざし、積極的に市政を推進しております。

昨年は、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンをはじめ大阪歴史博物館など主な集客施設が整備され、これら施設を十分に活用した施策の充実を図り、文化的・観光的に魅力あるまち大阪をめざしています。

一方、社会の急速な少子・高齢化が進行し、家庭や地域の役割が変化する中、子育てや老後の生活に対する市民の不安を解消し、ライフステージに応じ、市民が安心して暮らせるよう保健・医療・福祉などの生活に密着した部門が十分な連携のもと、施策を行っていくために、昨年4月に環境保健局と民生局とを統合して健康福祉局とする組織の再編整備を行ったところです。

今後とも、レジオネラ症などの感染症やシックハウス症候群などの諸問題に対応するとともに、危機管理体制の確立、専門技術の強化を図り、これまで以上に安心して暮らせる生活環境の提供を行えるよう、衛生対策を進めてまいります。

これらの施策を推進していくため、貴協会が、これまでの豊富な経験と実績に基づき、刻々と多様化するニーズに的確にこたえられ、安全で快適に暮らせるまちづくりの推進に、一層寄与いただきますようご期待申し上げます。

最後になりましたが、財団法人大阪防疫協会のますますの御発展と会員の皆様の御健勝、御多幸を祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。

新年のごあいさつ



堺市保健福祉局
保健衛生部長

山 田 修 司

新年明けましておめでとうございます。

新春を迎え、財団法人大阪防疫協会の皆様には、すがすがしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

平素は、本市保健衛生行政の推進に格段のご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

本市では、現在、新市長のもとに、政令指定都市への移行に向けた都市基盤整備、市民の視点で行政改革を進め市民福祉のさらなる向上、開かれた市政の推進という三つの柱を掲げ、21世紀をリードする新しい「自由都市・堺」の創造に向けて、様々な施策を積極的に推進しております。

保健衛生分野においては、昨今のバイオテロ擬似事件やBSE問題など、かつて経験したことのない危機事例が発生しており、市民生活の安全と健康・いのちを守るため、危機管理体制を確立するとともに、防疫並びに保健衛生の専門技術の向上が急務となっております。

危機管理対策では、発生の未然防止と発生後の速やかな対応が最も重要であり、防疫面においても、市民生活に不可欠な飲料水や食品などの衛生管理、衛生害虫対策などに積極的に取組み、快適で健康的な住環境を確保し、「健康都市・堺」の実現を目指しております。

貴協会におかれましては、永年培われてきた防疫対策や建築物管理などに関する豊富な知識や経験と高度な技術を遺憾なく発揮していただき、今後とも変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、財団法人大阪防疫協会のますますのご発展と会員の皆様方のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

新年のごあいさつ



東大阪市保健衛生部長

大 西 晴 雄

新年あけましておめでとうございます。

皆様方には、すがすがしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

旧年中は、本市の保健衛生行政の推進に格別のご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、米国同時多発テロ、狂牛病問題など我々の日常生活そのものを震撼させる事件が多く、特に、米国同時多発テロは、世界中の人々に大きな衝撃と深い悲しみを与えました。その後も、郵便物による炭そ菌事件により、目に見えない恐怖が募り、社会的な不安や混乱を招くことになりました。人の健康を守る立場の者として、日頃から危機意識に対する心構えの必要性を再認識し、行政が不測の事態に対応できる事前対応型システムの確立が改めて問われていると痛感いたしました。

本市でも、健康被害の発生予防、治療、拡大防止を図るため、保健所を中心に迅速かつ適切な対応ができるよう健康危機管理体制を充実させてまいりました。今後、これらの業務の実効性が確保されるよう、人材の育成、必要な機器・資材の整備等を行うとともに、医療機関・警察・消防・その他関係機関・団体との情報交換や想定訓練などより一層の連携・機能強化を進めていくことが重要な課題と考えています。

また、食品の安全性、レジオネラ症などの感染症やシックハウス症候群などの衛生対策も山積しており、市民が快適で健康な生活環境を確保するため、その充実の強化が求められています。

こうした保健衛生施策の取組みと推進にあたり、今後とも豊富な実地経験により高度な知識・技術を培われている貴協会のなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴協会の益々のご発展と皆様方のご活躍ご健勝を祈念いたしまして新年のごあいさつといたします。

新年のごあいさつ (眼は横、鼻はまっすぐ)



大阪府保健所長会 会長
吹田府民健康プラザ 所長

圓 山 誓 信

新年おめでとうございます。

私は毎年暮れになりますと、この一年の中で私のここに残った本・写真を思いだし、一番印象的だったものを一つ選びだしています。昨年は道元禅師の「眼横鼻直」でした。これは道元禅師語録の最初に出てくることばで、「宋の国の如浄禅師にお目にかかり、眼は横、鼻はまっすぐとわかって最早師にだまされなくなった。そこで、何も携えずに故郷に還ってきた」とあります。このことばは臀部が切れ骨が露出しても構わないという気概で修行された道元禅師のことばであることを考えると、よほど心して拝聴する必要があると思った次第です。

帰朝後の著「普勧坐禅儀」に、坐禅とは「すべてのとらわれをやめて、善いの悪いの、正しいの間違っているのという判断をやめる」ことであると書いておられます。このことばは道元禅師が私に、自分のレンズを通してしか世の中を見ていないのではないか、自分のレンズを捨てて、当たり前前を当たり前に見よ、と語りかけておられるような気がしてなりません。道元禅師が眼横鼻直といわれるとき、自分というレンズはそこには無いに違いありません。もしそんなものがあれば善いの悪いのという判断がどうしても出てきてしまう、「自分によくしてくれる人に善いことをしたところで、どんな恵みがあろうか。罪人でも同じことをしている」(ルカによる福音書6:33) ようなありようではとても「眼横鼻直」の真の意味はわからぬ、と言われているのではないかという気がしてなりません。

そう考えてみますと、最近、「個性を大切に」とか「個性を伸ばそう」ということばが花盛りなのが気にかかります。眼横鼻直以来、まず個性を無にする必要があるのではないか、そうして初めてその人にあった個性を正しい方向に伸ばすことが出来るのではないかと思うようになりました。

新年のご挨拶



財団法人
阪大微生物病研究会
理事長 東 雍

新年あけましておめでとうございます。

皆様方には、すがすがしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

旧年中は、財団法人阪大微生物病研究会のワクチン事業の遂行に格別のご尽力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は米国に於ける同時多発テロに端を発し、アフガニスタンへの軍事行動、日本の後方支援・補給活動、タリバン政権の事実上の崩壊、暫定行政機構の設置、炭疽菌によるバイオテロ、国内での狂牛病の発生等騒然とした世の中でした。早く落ち着きを取り戻し、世界的規模で落ち込んでしまった景気が早急に回復へと向かって行くことを願うばかりです。

その様な中で当財団にとっての最大の関心事の一つは、予防接種法の改正でした。継続審議になっていた法案が、上記に関連した重要案件が優先審議された為、ようやく成立・施行されたのが11月9日でした。今回の法改正での要点の第一は、インフルエンザの予防接種が65歳以上の高齢者及び60～64歳であっても心臓・腎臓・呼吸器等の機能障害者に対しては、費用の一部が公費負担で行われるようになったことであり、第二は風疹の予防接種が昭和54年4月2日生まれ（22歳）から昭和62年10月1日生まれ（14歳）迄の未接種者を対象に、今後2年間行われるようになったことです。

これらのことからワクチンの需要は一層高まると考えられ、その上、千葉県血清研究所が本年中にワクチン事業から撤退予定であることから、ワクチンの安定供給の責務を有するメーカーの立場として、今後の生産量を決定する上で、流通の最先端におられる皆様方からの予測需要量等についてご意見や情報を是非頂戴致したいと存じます。

最後になりましたが、貴協会の益々のご発展と皆様方のご活躍ご健勝を祈念申し上げ新年のご挨拶と致します。

新年のごあいさつ



株式会社
大阪府食品流通センター
取締役管理部長 豊田博充

新年あけましておめでとうございます。

皆様方には、清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は、当社の事業推進に専門的な立場から種々ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、先行き不透明な景気低迷の中、米国における同時多発テロなど殺伐とした事件が起りましたが、おかげさまで、当社の使命である食料品の供給基地を管理するという重大な役割を無事果たすことができました。これもひとえに貴協会のお力添えがあったからこそでございます。

食の安全確保の問題は、直接人の生命を脅かすだけに慎重な対応が求められます。

最近は食料品に対する不安要因も多様化しております。遺伝子組み換え食品や狂牛病のような食料品そのものに起因するもの、流通過程あるいは店頭における異物の混入による汚染、さらに飲料水（水道施設）への人為的な病因物質の投入や地球環境の悪化によるものなど考えますと幅広い分野の連携による安全確保がなされなければなりません。

当社は開業以来24年間、加工食品卸売団地の運営並びに大阪府中央卸売市場施設の管理業務に携わって参り、各々の安全確保、施設の保守管理、保安警備、防疫消毒、清掃等の業務を貴協会をはじめ各方面のご協力を得て実施して参りました。その課せられた役割の重要性を十分自覚し、今後とも事故の無いよう最大限の努力を傾注してまいり所存でございます。

貴協会の益々のご発展と皆様方のご健勝ご多幸をお祈りいたしますとともに、本年も変わらぬご指導ご協力をいただきますようお願いして、新年のご挨拶とさせていただきます。